

「岡山市子ども読書活動推進計画」(素案)に対する パブリックコメントの意見要旨と回答

岡山市子ども読書活動推進計画(素案)に対するご意見等を平成20年9月26日(金)から10月31日(金)まで、募集したところ112の個人、団体からご意見等をいただきました。

お寄せいただいたご意見等とそれらに対する岡山市の考え方について取りまとめましたのでご報告いたします。なお、お寄せいただいたご意見等につきましては、取りまとめの便宜上、適宜集約させていただきます。

今回ご意見をお寄せいただきました方々のご厚意に厚くお礼を申し上げます。

はじめに

通番	頁	意見等の要旨	件数	回答
1	1	幼い子どもの所に重きをおきすぎ。18歳までなのだから、中・高校生の部分ももっと書いて欲しい。	7	「はじめに」の冒頭では幼い子どもを例にとっていますが、この計画全体としては、取組の対象となる0～18歳までの子どもと、それを支える大人までを意識して書いています。計画をすすめていくなかで中学・高校生に向けた取組も検討していきたいと考えております。
2	1	「本と子どもをつなぐ専任職員」ではなく「司書や学校司書」としてほしい。	3	ご意見を反映し、見直しました。
3	1	この「計画」の策定までの経緯やポイントをわかりやすくまとめて書いてほしい。		「第1章 1. 策定の経緯」に記述しています。
4	1	この「計画」が対象とする「子ども」とは、という定義を、ここに書く必要がある。		「第1章」点線枠内に計画の定義に関するものはまとめて記述しています。
5	1	学校司書は、学校内に限らず、地域に向いて、子どもの読書にかかわる行事にかかわっています。そういう実態は、家庭・学校・園・地域のどのシーンにも関わっているので「はじめに」の部分にも書き込んでほしいと思います。		【11頁】「④学校と地域との連携」の項に記述しています。
6	1	「すべての子どもがあらゆる機会とあらゆる場所において自主的に読書活動を行うことができるよう、積極的にそのための環境整備が促進されなければならない」という法律の理念も入れてもらいたい。	2	本計画は法律の理念に拠って策定しています。

第1章子どもの読書活動推進計画の趣旨及び基本的な方針について

通番	頁	意見等の要旨	件数	回答
7	2	策定の経緯では「小学校・中学校・高等学校において、自ら学び・・・」と記載してあるが、幼稚園においても『岡山人づくりプラン』『岡山っ子育成条例』等で自立する子どもをめざしている。ここに幼稚園のことが含まれていない。司書に関することが後の文章にあるからかもしれないが・・・。P7からの内容につながるためにも必要なのではないか。		ご意見を反映し、「学校・園」に修正しました。
8	2	1. 策定の経緯―「学校司書を全国に先駆けて」は全国に誇りうる、先見の明があったとの記述が欲しい。		ご意見として承ります。
9	2	策定の経緯→もっと簡潔に	4	ご意見として承ります。

10	2	「読書が好き子どもが～いることがわかりました」まで、もう少し明確な表現で書いてください。「読書が好き」と回答した子どもが多くいる等。		【2頁】「1. 策定の経緯」をご意見を反映し、修正しました。
11	2	西暦元号の表記の混在はどうか、要整理です。		ご意見を反映し、統一しました。
12	3	推進計画で何に重点を置いて子どもの読書環境充実の取り組みをするのかが見えてきませんでした。重点として取り組むべき課題を明らかにしてください。		【3頁】「2. 計画の趣旨と基本的な方針」に記述しています。 (1)子どもが読書に親しむ環境の整備 (2)家庭・学校・地域のネットワークづくり (3)子どもの読書活動についての情報発信
13	3	2. 趣旨と方針の記述で「読書はどの子どもにも等しく保障される権利であり」とあるが、もっと広い視野でとらえ、「子どもの権利条約に保障される適切な情報アクセスや遊びや文化、芸術的生活への参加の権利であり、この権利を大人は尊重し、その実現を図らなければならない」との記述が欲しい。	2	ご意見として承ります。子どもの権利条約などの基本的人権に配慮しながら子ども読書活動を推進していきます。
14	3	行政が公的責任で取り組むという記述が欲しい。	4	ご意見として承ります。
15	3	「読書」の記述について、3Pの本文3行目と4行目の内容では、狭すぎるので、法律や文科省が打ち出している水準の内容は盛り込んでください。		ご意見として承ります。
16	3	2. 計画の「趣旨及び基本的な方針」でうたわれている内容にしたがって、「2章」からの具体的な「子ども読書活動の推進に向けて」の記述を行ってください。		ご意見として承ります。
17	3	注記「学校・園」順序として「保育園・幼稚園・小学校…」の方が、幼児期の読書体験が大事なのでイメージとしてもよいように思われます。		現在の記述で適当と考えます。
18	4	アンケートは回答数が必要。分析と考察も必要。		回答数については、資料集をご覧ください。

第2章子どもの読書活動推進に向けて

1. 家庭

通番	頁	意見等の要旨	件数	
19	5	家庭の現状から考えて、読書を楽しんですすめることができるためには「子どもが最初に出会うのが…」という最初の文章はないほうがよいと考えます。	8	ご意見として承ります。
20	5	家庭の部分で「子どもが読書に親しむことができるような機会をつくることは大切です。」とありますが、仕事や家庭の事情もあると思いますので、「望ましい」などにしていただけるとありがたいです。		ご意見として承ります。
21	5	家庭に責任をおわせすぎ。行政としてやるべきことを書いて欲しい。		ご意見として承ります。
22	5	保護者自身(親)がまず実感しなければ、子どもの読書環境は整わないと思います。		ご意見を参考にして今後の読書活動を推進してまいります。

23	5	本が手にとられにくい、本があまりない家庭への行政としての支援策が必要。イベントに行きにくい親子に、親子ともども読書を楽しむ機会を設けるべき。		ご意見を参考にして今後の読書活動を推進してまいります。
24	5	現状と課題→もっと簡潔に		ご意見として承ります。
25	6	市民と市と一緒に考えていきます→どうやって？具体的にどんな方法で？明記してほしい。	2	「1. 家庭」での記述を見直しました。
26	6	親子手帳配布時や出生時の絵本配布時を利用し、読み聞かせや読書の重要性についてより一層保護者の意識の向上に努めます。と、ありますが本は無いよりは在るほうが良いですが、渡すだけでは絵本の楽しさはわからないと思います。		絵本配付時に読書の大切さを伝える取組を始めています。

2. 学校・園

通番	頁	意見等の要旨	件数	
27	7	「2. 学校・園」の冒頭に「～読書のおもしろさを伝える人がいます」とあるが、読書は「おもしろさ」だけが重要なのではない。また、「伝える人」も学校司書中心とする学校・園の職員の他、子ども同士の伝え合いという要素もあるだろう。この一文では何を示したいかが曖昧であるので、削除してはどうか。	2	【7頁】この一文を受けて、「子どもが本を読んだり、本で調べたりする～求められます。」と補足しています。
28	7	学校・園に関する記述は、各校の実態に即した読書活動が求められていると考える。あまり、画一的な規制ととられるような表現は、好ましくないのでは。		ご意見として承ります。
29	7	園での子ども読書活動の充実(職員研修の充実)のところに、家庭からの本の相談にも応えられるように「子どもにとっての読書の意義」「読み聞かせの方法」「選書」などをテーマにした職員の研修に努めます。と、ありますが、今現在の職員の先生が研修を受けてされるということなのでしょうか？先生は大変忙しいので、司書の方を採用してあげてほしいです。		ご意見として承ります。
30	7	幼稚園や保育園、小学校の先生たちに、なぜ子どもにとって本や読書が大切なのかを勉強してほしい。日々の忙しさはわかるが……。子どもへの読み聞かせもボランティアに任せてしまわず、一緒にしてほしい。		ご意見として承ります。
31	7	小・中学校は専任の学校司書がありますが、保育園、幼稚園では、それにかわる職員はいません。そのなかで、職員研修の充実に努める(P7)ことは、苦勞されることなのではないでしょうか？ 公共図書館という場を使って、そういった専任の司書がない場でのフォローを、ぜひ、もう少し強調してください。		ご意見として承ります。
32	8	保育園・幼稚園ではすべての園で絵本コーナーを充実させてください。		【8頁】ご意見を反映し、修正しました。

33	8	園における図書の充実は、子どもの読書活動において重要です。園の図書費が確保できるような書き方をしてください。	5	ご意見として承ります。
34	8	ウ「保護者への意識の浸透」箇所 家庭への指導的な表現になっているので、「保護者への発信」という記述にしてください。	3	【8頁】ご意見を反映し、「園における子ども読書活動の情報の発信と共有」と修正しました。
35	8	本を読んで楽しんでいる子どもの様子や本の紹介を、おたよりなどで伝えたり、参観日や行事などを利用して、保護者と子どもがともに本を楽しむ場を設けます。と、ありますが、すべての園が対象でしょうか？ 現在、おたよりで紹介されているところもあると思います。親子が共に本を楽しむのはとても良いことですが、このことは現場の先生には可能なのでしょうか？ 文章だけが先行しているように思われます。		この計画の策定をきっかけに、各園がそれぞれの実態に合わせて子どもの読書環境の充実に取り組んでいくことが重要だと考えます。
36	7	[連携] 小学校の先生との連携が難しく「読み聞かせ」を良く理解されていない方も居られます。マンモス校なので、学校司書の先生はお忙しく、話し合う時間もままなりません。また、学区内の公立幼稚園に出向く事もありますが、先生方はノートタッチなので参加はおろか園内の蔵書の貸し出しもしていただけません。		ご意見として承ります。
37	7	ほとんどの園で、家庭への絵本の貸し出しをしているので、そのことを挙げた方がよいのではないのでしょうか。		【7頁】ご意見を反映し、修正しました。
38	8	保護者への意識の浸透のところで、園での乳幼児を対象とした読み聞かせや保護者への講座などを継続・充実させ、保護者に子どもの読書の大切さを伝え、その意識が定着するよう努めていきます。と、ありますが、誰がするようになるのでしょうか？		園全体で計画的に取り組むことと考えています。
39	9	高校生への記述がほとんどない。高校生への読書支援についても検討してほしい。	8	【11頁】ご意見を反映し、「学校図書館は、小学校高学年の児童から高校生までの、いわゆるヤングアダルト世代への本の紹介にも取り組む必要があります。」と加筆しました。
40	10	学校内だけでなく、地域の方や他の施設とも連携をしている様子も書き加えてください。	10	【11頁】「④学校と地域の連携」の項を新たに立て記述しています。
41	11	施設設備の充実	6	ご意見を参考にさせていただきます。
42	11	本と人を結ぶ学校司書は、全校に専門の専任の正規で1校1名の配置	38	【12頁】「②学校の読書環境の基盤の充実と継続」に「専任の学校司書の配置や継続」と記述しています。
43	11	学校図書館の図書費については、全体的な充実をお願いします。	17	ご意見を参考にさせていただきます。

44	11	コンピュータの横断検索により相互貸借が進んでいるので、物流手段についても早急に対応することも記述してください。	17	【12頁】「②学校の読書環境の基盤の充実と継続」に「図書横断検索システムが最大限に活用できるよう、学校間の相互貸借の活性化を前提とした迅速な物流手段の工夫や構築について今後検討していきます。」と記述しています。
45	11	今まで通りの継続研修に加えて、司書教諭との研修、公共図書館の司書の方との研修も必要だと考えます。	10	【22頁】「第3章 計画の推進のために」に記述しています。
46	9	「2(2)小学校・中学校・高等学校」の冒頭に「学校は～読書ができる場を提供するところです」とあるが、「学校」が主語になっていることに違和感がある。「学校には学校図書館があり～」という記述が必要。		現在の記述で適当と考えます。
47	9	【現状と課題】①の文章の構成、語尾が不自然です。		ご意見を反映し、見直しました。
48	9	「2(2)現状と課題①」の5行目「高学年になるほど一冊の分量が多くなっていきます」の部分は、前と逆接でつないでいるため、否定的な意味に取れてしまう。年齢が上がるにつれて一冊の本を読み終わるまでにかかる時間が長くなり、読書冊数が減ることは当然のことなので、「一冊の分量が多くなることも読書冊数が多くなる一因である」という趣旨の記述に改めてほしい。		ご意見を反映し、見直しました。
49	9	「2(2)現状と課題①」に「不読者層」への言及があるが、その原因は「興味・関心が広がってくる」ことだけではなく、塾や部活動などのために読書する時間がない、と多くの子どもたちは感じているという現状がある。そのため「図書の時間」「朝読書」で読書時間を確保している、という書き方をしてほしい。		不読者層の広がりについては、ご意見のとおりさまざまな要因があります。ご意見を反映し、「不読者層」の記述を削除し、表現を見直しました。
50	9	(2)小学校・中学校・高等学校について「不読者層」という言葉が、少しきついように感じました。(現状と課題①7行目、今後の取組③6行目)「不読者層を減らす」ことは確かに大切だと思いますが、そこに限定するのではなく「どの子どもより一層本に親しめるようにする」というような、少しおおらかにとらえた言い方にしてほしい。		ご意見を反映し、「不読者層」の記述を削除し、表現を見直しました。
51	9	現状と取組があっていない部分がある。呼応するような書き方で書いて下さい。		ご意見を反映し、現状と取組が呼応するように見直しました。
52	10	③「司書教諭と学校司書の連携」L5の「子どもたち・教職員からの～」と、「中核市の中では児童・生徒一人当たり～」と記述してあるのですが、「児童・生徒」に統一して下さい。学校では、「児童・生徒」という名称で表記されていますので…。		ご意見を反映し、大幅に見直しました。

53	10	【今後の取組】①子どもの読書活動の充実 “図書館の本を使った授業づくりや本に親しませるための工夫を考える校内研修の充実を図ります”この校内研修や授業づくりに関して、もう少し具体的な、あるいは明確な記述があれば良いと思います。 中学校では特に、各教科での図書館利用が少なく、そういう機会での利用からまず図書館という場所に親しみ、そこから読書の機会が増加するというケースが多くあるため、図書館と各教科の学習をしっかりと結びつけられるような、それをベースとしたような記述になればと思います。		ご意見を反映し、大幅に見直しました。
54	10	【今後の取組】①子どもの読書活動の充実 箇所の最後の行「図書館の本を使った」箇所「図書館の機能」あるいは「図書館の働き」という記述にしてください。		ご意見を反映し、大幅に見直しました。
55	11	「③司書教諭と学校司書の連携をはじめとした学校全体での協力体制の充実」「高学年になるほど」は、「年齢が上がるにつれて」とすべき。		ご意見を反映し、大幅に見直しました。
56	10	「全校一斉読書を奨励」とすると、画一的な形式に陥りやすいので、学年や学級の状況に合わせた「読書の時間の確保」という言葉に修正してください。	8	ご意見を反映し、修正しました。
57	10	【現状と課題】③に「学校司書と司書教諭が中心となって連携することで学校全体の子どもたちの学びや授業が豊かになっている」の記述を入れて欲しい。	5	ご意見を反映し、大幅に見直しました。
58	9	「現状と課題」の部分で、実態の把握が甘い。		ご意見として承ります。
59	9	中学校区の近隣学校園が連携して読書推進をしているところもあるので、そのことを挙げるとよいのではないのでしょうか。		【11頁】「④学校と地域の連携」の項を新たに立て記述しています。
60	9	「学校司書が子どもたちの自主的な読書を支え、居場所作りをしている」の記述が欲しい⑤としてほっとする居場所としての機能も加えて欲しい。(ただし、不登校とか特別支援の子どもとために、というような記述は偏見の元になるので、使わないで欲しい。)		ご意見として承ります。
61	9	学校図書館の現状について、語り合いや学びあいの部分があげられていましたが、その前提として誰でもひとりひとりで自由に本の世界に触れられる場であるように感じます。日々の様子からも、個として図書館という場を求め楽しんでいる場面が多くあります。そのような様子についても書き加えていただき、これからも大切にしていきたい部分としていただけたらと思います。		ご意見として承ります。
62	9	「図書の時間」の部分に、その意義や具体的にどのような時間なのかについて、市民の人に分かりやすく注釈をつける必要がある。		【9頁】ご意見を反映して、「朝読書」とともに、注釈を付しています。

63	9	”読書”に関してたくさん書かれているので、”学習”に関する事柄ももっとたくさん書いていただけると、より充実した内容になるのではないかとお思います。現在、学校図書館や公共図書館が、さまざまな授業の場で活用されています。「学習情報センターという学校図書館の機能を存分に活用する組織的な取組」と、せっかく書かれているので(今後の取組③8行目)、このことに関して、調べ学習のことなどもっと詳細に入れるとよいのではないかとお思います。	ご意見を反映し、大幅に見直しました。
64	10	②学校図書館の整備 公共図書館は学校に対して、いつも本を貸し出すだけで、便宜をはかっていない。もっと、貸し出しに対して、真摯に考えてほしい。→どこの図書館で返却しても可能、BOX返却可能、たとえば、自動車文庫などを利用した貸し出しも可能。	市立図書館の規模により対応できる範囲が異なりますので、詳しいことは各図書館にお問い合わせください。
65	10	司書教諭の格別な活動がほしいものです。活動のあり方によって校内に読書旋風が起こります。「学校司書との協力の上に・・・」だけでなく、司書教諭の役割についての一文がほしいです。	ご意見として承ります。
66	10	学校の読み聞かせやストーリーテリングは校長、司書、司書教諭の方の理解や関心、意欲等に大いに左右されます。特に校長先生が積極的に動いてくださるとい方向に進むようです。「校長会」等への働きかけも有効かなと思います。	ご意見として承ります。
67	10	学校・園 全般にわたって【今後の取組】が弱いように感じます。これから岡山市の子どもの読書環境をよくしていこうとする、その計画なのだから、これからの展望を大きく描いてほしいと思います。	ご意見として承ります。
68	10	現在は赤ちゃんから就学前の子どもにいい絵本を提供する環境がかなり整備されていると思います。人、本、場がうまく結びついています。資料6の中に「絵本からやさしい文章の本に移行するとき、子どもが気に入らな本を探しにくい」という意見がありましたが、ここが学校図書館のなう役割の大きな部分だと思えます。学校図書館は自分で本を読むようになる時に一番近くにある図書館です。「子どもが自力でいけるところに公共図書館を」ということはもちろんですが、学校図書館がその部分を担えるように学校図書館が地域の中でこういった役割が果たせるのか考えていくべきだと思います。	ご意見として承ります。
69	10	【今後の取組】①の記述・「一人ひとりの読書の実態に応じて、きめ細かく多様な支援を行うなかで、『読みたい』気持ちを引き出し」という内容はすでに行っている実践なので、【現状と課題】の中に移動させてください。	ご意見を反映し、見直しました。

70	11	「メディアリテラシー教育についても考えて行きます」とありますがもっと、毎日の親子の生活や遊び(ゲームなどではない)の大切さ、そこで生まれる言葉などについても言及した方がいいのではないのでしょうか。		ご意見として承ります。
71	11	①の後半「さらには、…」の部分を項目立ててはどうでしょうか。①子どもが地域で活動できる場 ②地域の人々を受け入れての活動 ③図書館活動を地域へ発信すること の3点をもう少し整理して記述してください。		【12頁】「④学校と地域の連携」の項を新たに立て記述しています。
72	11	小学校で読み聞かせボランティアをしていますが、現在は一方的に読むだけです。子どもたちがお話を聞いてどうだったのか、印象に残った本や感想などを知ることができれば次からの参考になり、また活動の励みにもなると思うのです。学校側からのアドバイスもしていただければ活動の向上につながります。		ご意見として承ります。
73	11	学校・園の今後の取組の部分に「いつでも本を手取ることのできる環境作りを進めていく」を加えていただければと思います。これによって高学年・中学生になっても読書習慣の定着につながるのではないかと思います。		【10頁】「③学校図書館の活動」に「学校図書館がいつでも利用できるように、全ての市立学校に継続して学校司書を配置するとともに」と記述しています。
74	10	③司書教諭と学校司書の連携 発令は何%ぐらい？ 中核都市の貸し出し上位というが、データは？		【10頁】「③学校図書館の活動」に基準を超えた発令を行っていることが分かる表現に修正しています。資料集にデータを追加しています。
75	11	②の予算措置については「岡山市」としての考えですか？ 全体的に今後の取組の項は、内容的にみて文章表現の主体が「岡山市」と考えればよいのでしょうか。少し疑問が残ります。		主体は岡山市です。
76	12	「不足しがちな実体験」という表現は良くないと思うので削除してほしい。	3	ご意見を反映し、削除しました。
77	12	タイトルは「特別支援学級」ではなく、「特別支援教育」とし、別立てで項目にするのではなく【今後の取組】の1つにしてほしいです。	3	特別支援学級や院内学級等、ふだんなかなか取り上げられない施設について知っていただくとともに、子どもたちの生活するあらゆる場面で読書推進が必要であることを明確にするためにも、必要な項立てとを考えます。
78	12	【現状と課題】L1 箇所「こどもは」ではなく「子ども」と記述してください。	2	ご意見を反映し、見直しました。
79	12	(3)特別支援学級については、障害を持つ子どもや、外国語を日常会話とする子どもにふさわしい図書を充実させてください。		ご意見を参考にして今後の読書活動を推進してまいります。
80	12	学区に暮らす外国語を……必要な本を提供できるように考えていきます。→具体的にどうするのか明確に書いていないので、実際的な活動・計画・予算的裏づけも明記する必要があるのではないかと。		ご意見として承ります。

81	12	通級指導教室という文言も入れて欲しい。やはり借りるのではなく特別に予算をつけるとかを書いて欲しい。	ご意見として承ります。
82	12	特別支援教育の対象となる子どもたちとそれ以外の子どもたちが、学校図書館や図書館資料を媒介として交流し、相互理解を深めていくことができている、ということについても触れてほしい。	ご意見を参考にして今後の読書活動を推進してまいります。
83	12	特別支援についてですが、もう少し具体的な記述が欲しいです。【現状と課題】では、「～日常的に利用します」の記述の後にもう少し現状(実態)の記述が欲しいです。	ご意見として承ります。
84	12	「普通教室」とは言いますが学級については、「通常学級」がよいでしょう。	ご意見を反映し、修正しました。
85	12	「2(3)今後の課題」が抽象的すぎる。	ご意見として承ります。
86	12	「特別支援学級の学級文庫については、個々の子どもの興味に合った本をできるだけそろえるような配慮をしています」→現状で学級文庫は予算の何費を使って購入してよいのでしょうか？	現状では、学校図書館の本を教室貸出とするか、通常学級と同じように、除籍本の活用で対応しています。

3. 地域

通番	頁	意見等の要旨	件数
87	13	「3. 地域」の冒頭で、地域の読書活動の拠点としての市立図書館が積極的に関わり、推進していくことの役割を明記してほしい。	【22頁】「第3章 計画の推進のために①図書館を市全体の子どもの読書活動推進のセンターとして、…」と記述しています。
88	13	「子ども」である高校生の読書環境もぜひ整えていただきたいのです。	4 ご意見を参考にして今後の読書活動を推進してまいります。
89	13	現状と課題 →もっと簡潔に	ご意見として承ります。
90	13	P13-(1)図書館【現状と課題】図書館資料の5行目「図書館の利用に障害」を「すべての市民の知る権利を保障するサービスを行っています」に変えて欲しい。少なくともこの「障害」の文言の使い方は誤っているので違う言葉(「支障がある」とか)に置き換えて欲しい。	【14頁】「①図書館資料」ご意見を参考に見直しました。
91	13	図書館の【現状と課題】①「視覚障害者への貸出を行うなど、図書館の利用に障害のある人たちにもサービスを行っています」という文章を「視覚障害者への貸出を行っています」にする。(その後の記述は削除)	【14頁】「①図書館資料」ご意見を反映し、「大活字本や録音図書、外国語の本の貸出を行っています。」と修正しました。
92	13	②「職員の専門的知識」ではなく、「職員の専門性」に変えて欲しい	【14頁】「②職員の専門性」ご意見を反映し、修正しました。
93	13	司書ではなく専門職員という表記では足りないように思います。これでは知識さえあれば資格がなくてもよいという風にも取れてしまいます。きちんと司書の表記をお願いします。	ご意見を反映し、修正しました。

94	13	【現状と課題】①「図書館資料」のところですが、中核市の中でも蔵書数や貸出数、蔵書回転率も高いレベルとありますが、表もグラフもないので分かりづらい(信用しづらい)ところがあります。グラフを提示して下さい。		資料集最後にございます。資料37
95	13	インターネットで学校としての予約が(市立図書館への)できるようにしてほしい。	2	ご意見として承ります。
96	13	図書館に行かなくても本を借りられるシステムというのは出来ないものでしょうか。		ご意見として承ります。
97	14	中央図書館だけでなく、地方でも読み聞かせ体験の場を充実してください。		ご意見を参考にして今後の読書活動を推進してまいります。
98	14	P14③L4～5の「貸出、検索、予約」→「貸出・検索・予約」にしてください。(点の位置がおかしい。)		現在の記述で適当と考えます。
99	15	児童書の全点購入など、蔵書の充実も希望します。	4	全点購入については、県立図書館の役割だと考えております。
100	15	岡山市で公共図書館の利用が盛んなのは、小・中・高校で図書館利用の下地作りができていて、という面があることも、学校と図書館の連携という視点から触れてほしい。		ご意見として承ります。
101	15	【今後の取組】①イ、エ、オ 一意見→予算は確保されるのか？高価であることが予想されるので、どのような割合で、どの程度の予算がかけられるのか知りたい。		布絵本や録音図書はボランティアの協力を得て作成しています。
102	16	公共図書館を利用するときにもいつも感じるのは、職員の数が少ないということです。司書は専門知識の積み重ねが必要な職種なので、職員が臨時や嘱託でなく、正規採用で増員されることをお願いします。	25	ご意見として承ります。
103	16	岡山市のどの地域に住んでいても同じように公共図書館が利用できるよう、地区館の整備も図っていただけたらと思います。	49	「岡山市立図書館整備実施計画」の中で検討していきます。
104	16	公共図書館の司書の研修の機会を増やして欲しい。	3	ご意見を参考にして今後の研修の充実に努めてまいります。
105	16	足守地域の図書コーナーには古い本が多いし冊数も少ないです。子供達にとってもっと身近で楽しい読書ができるような環境にして欲しいです。	2	ご意見を参考にして今後の読書活動を推進してまいります。
106	16	現在ある西大寺公民館の中にある市立の西大寺図書館は面積も狭く、資料も大変お粗末です。もっと充実させる様にして下さい。		ご意見を参考にして今後の読書活動を推進してまいります。
107	16	何を選んだら良いのか、たくさんの本が並んだ本棚の前で迷います。アイウエオ順、大きさによる分類以外に年齢による分類があったら選びやすいと思っています。	2	ご意見を参考にして今後の読書活動を推進してまいります。
108	16	子供達が入りやすい施設作りが必要。又、利用しやすい(駐車場や自転車置き場が充分ある)ことも重要と思います。		ご意見を図書館の施設整備の参考にさせていただきます。
109	16	合併地区から、公共図書館に資料を借りに行くことは大変なことです。あおぞら号がまわってきて頂けると、子どもたちも喜びますし司書の私も助かります。		【17頁】「③図書館施設・設備の充実」の「ア」に記述しているように考えていきます。

110	16	子ども達は、小・中・高とその年齢にあった図書館の利用指導、情報探索の仕方等を学習していきますが、最終的に中央図書館で大規模図書館での利用指導、情報探索指導研修があれば、より子ども達は図書館を利用し、生涯につながる読書活動、学習活動ができると思います。中央図書館の今後の取組に加えていただければと思います。		ご意見を参考にして今後の読書活動を推進してまいります。
111	16	図書館の場所を知らない子に図書館にまず足を運んでもらうための積極的なPR活動をしたら良いのでは、たとえば図書館の場所がわかるマップやポスターを作るとか、学校作品の展示や市内図書館のスタンラリー等のイベントを行う。図書館で本の楽しさを知ってもらいたい。		ご意見を参考にして今後の読書活動を推進してまいります。
112	17	P17-⑤どこかに、学校の職員と市立図書館司書が話し合う場の設定を入れてほしい。	2	【18頁】「⑤学校・園、地域の各施設、ボランティアなどとの連携・支援の推進 イ」で記述しています。
113	17	2章の中で、保・幼・小・中・公民館での地域との連携や、公共図書館・その他の施設との連携についてもふれてほしい。		【18頁】「⑤学校・園、地域の各施設、ボランティアなどとの連携・支援の推進 イ」で記述しています。
114	17	自主的な団体等に入っていない一般市民、特に高齢者の図書館への積極的なかわりを計画してはどうでしょう。大人の背に学ぶ子供たちの人間的成長を期待してのことです。		ご意見として承ります。
115	17	【現状と課題】公民館の図書コーナーに、5700冊も本があるとは思えないが、たとえばこれは伊島図書館なども含まれているとしたらおかしい。学校や家の近所の図書コーナーを見る限りそんなに本があるとは思えないので、正確な公民館ごとのデータを示してほしい。		伊島・足守は公民館にあります。図書館の分館です。公民館の図書コーナーには含まれていません。各公民館の蔵書数については、「岡山市立図書館利用蔵書統計」をご覧ください。ホームページからもご覧になれます。
116	17	これまで公民館を「分館」として位置付けるのであれば、5000冊単位で書籍が置いてある以上、職員に図書に関する研修を受けた人が最低一人はいていただくことが必要ではないかと思えます。		公民館図書コーナーはサービスポイントであり、分館とは位置づけておりません。【22頁】「第3章 計画の推進のために 1. 推進体制の整備 ②」に記述しています。
117	17	①公民館の中で、市立図書館のサービスポイントに位置づけられていてとは、どういう意味でしょうか。		公民館に図書コーナーを設置し、地域に密着した図書館サービスの提供しています。具体的には移動図書館が月に1回本の入れ替えをするとともに、公民館の搬送システムと連携し、週に1回予約の本を届けています。
118	18	読み聞かせのボランティアの活動場所はほとんど公民館、行事等で学校を拠点としています。本の紹介、貸出しも行っている文庫活動団体も多いです。その場合、貸出す資料は公共図書館から団体貸出をしていくわけですが、(課題)にもあるようにスタッフ不足のグループでは、負担も増えています。また、距離の問題、時間の問題もあります。ボランティアのすそを広げるためにも、各地区公民館で積極的にボランティア団体を支援していくという文言を入れてほしいです。		【19頁】「【今後の取組】①公民館 ウ、エ」に記述しています。

119	18	P18(表現)「今後の取組」の多くの項目の中で、“まずここからとりかかろう”とするのが①であると考えればよいのでしょうか。とすると、①公民館②ふれあいセンターとなっている点に異質な感じがします。		「3. 地域(2)」については、施設ごとに記述しており、優先順位を示してはいません。
120	19	「(3)子どもの読書を支援する自主的な団体」の中に、子どもと読書に関わる研究団体も含めてほしい。【今後の取組】では、そうした団体への研修場所や資料の提供を通じた支援についても記述してほしい。		ご意見として承ります。
121	20	養成講座を定期的に開催していくとボランティアの方が増えるのではないのでしょうか。		【19頁】「【今後の取組】①公民館 ウ ボランティア活動の担い手が育つように、ボランティアの養成講座を実施するとともに、さまざまな学習の機会を提供し、活躍の場づくりや情報提供などの支援を行い、活動が地域に広がるよう努めます。」
122	20	ボランティアの研修は、緊急の課題ですがボランティアの養成は簡単ではありません。3回や5回講座を受けたらなれるというのではなく、本についても実践についても、常に学ぶ姿勢が必要です。そのための場もいります。		【20頁】「(3)子どもの読書を支援する自主的な団体 ②ボランティアの活動・養成に対する支援」の項で記述しています。人数的な増加だけでなく、質的な向上を目指した講座の内容になるよう考えていきます。
123	20	連携はそう簡単なことではありません。そもそもボランティアに何ができるのか、どのような連携が可能なのか、連携で何をするのもか気になります。		ご意見を参考にして今後の読書活動を推進してまいります。
124	20	ボランティア団体で学校におはなし(ストーリーテリング)を届けています。図書館や公民館が団体と学校のパイプ役をしていただけたら、より活動しやすいかと思えます。		【22頁】「第3章 計画の推進のために①」に記述しています。
125		子供ノーベル文学賞を創設し、子供による作品を募集する。そして本にして販売する。大賞には映画化とドラマ化の副賞。本に関心を持つ様になるのではと思うのですが？		ご意見として承ります。
126		予算面で厳しいのであれば、せめて、子どもが読む本に特化した図書館でもよいのではないのでしょうか。就園前、就学前の子ども達が親子で参加・交流できるような場も設けられていると、さらによいと思います。		ご意見として承ります。

第3章計画の推進のために

通番	頁	意見等の要旨	件数	回答
127	21	見直しは「適宜」のようなあいまいな表現ではなく、期間を具体的に表記してほしい。	16	ご意見を反映し、【22頁】「おおむね5年をめどに」と加筆しました。
128	21	読書推進計画を岡山市が進めていく上での具体的な体制が明瞭でないように思います。		【22頁】「第3章 計画の推進のために」で「子どもの読書活動にかかわっている～取組に反映していきます。」と記述しています。

129	21	「図書館を市全体の子ども読書活動推進のセンターとして、～(略)～情報発信基地を目指します」とありますが、イメージできません。HPだけの情報発信になると困ります。	【22頁】「第3章 計画の推進のために」で「子どもの読書活動にかかわっている～取組に反映していきます。」と記述しています。
130	21	図書館が窓口となるのはわかりませんが、生涯学習課が担当すべきではないでしょうか。どの部署が担当するか、具体的な推進体制を明記してください。	推進体制の整備をすすめていくなかで検討していきたいと考えております。
131	21	ネットワークを進める担当窓口を作ると書いて欲しい。	【22頁】「第3章 計画の推進のために」で①「図書館を市全体の子ども読書活動推進のセンターとして、」と記述しており、図書館が窓口になると考えております。
132	21	「個人、団体、各機関とのネットワークをつくり……」ネットワークの構想図があればわかりやすいのではないのでしょうか。	構想図は作成しておりません。
133	21	校種を超えた連携や、公共図書館との連携、また地域の読書活動に係る諸団体との連携がスムーズに行われるよう、各学校現場でもこれまでどおり努力していきますが、物流の点や、連絡協議会のような場の設定などのご支援を岡山市でもしていただけるとありがたいです。	ご意見を反映し、【22頁】「子どもの読書活動にかかわっている市の教育委員会、保健福祉局の関係課からなる組織を設置し、その中で子どもの読書活動の現状を知り、市民の意見などを把握することで課題を共有し、取組に反映していきます。」と修正しました。
134	21	具体的には、この計画をつくって何をしたいんだろう、ということがわかりにくいです。市は「窓口」として子どもの読書活動に関わる人たちのネットワークをつくる、ということ、中心に考えたらいいと思います。	【22頁】「第3章 計画の推進のために」の中に加筆しています。
135	21	家庭・学校・地域における推進の役割をもっと具体的に明記すべきである。	推進体制の整備をすすめていくなかで検討していきたいと考えております。
136	21	推進体制の中心である市立図書館の役割を強く明記すべきである。	【22頁】「第3章 計画の推進のために①」で「図書館を市全体の子ども読書活動推進のセンターとして、」と記述しており、図書館が窓口になると考えております。
137	21	推進体制のフローチャートを作成し、市民への啓発資料として利用することを考えてほしい。	ご意見として承ります。
138	21	読書推進センターの役割を具体的に明記してほしい。	【22頁】「第3章 計画の推進のために①」で「図書館を市全体の子ども読書活動推進のセンターとして、～市民に広報・啓発する情報発信基地を目指します。」と記述しています。
139	21	推進体制の明記。(評価できるよう)数値目標の設定。P-D-C-Aサイクルが実現できるプランを作る。	ご意見を参考にして読書活動を推進していきます。
140	21	拠点となるセンターを作り、早急にネットワーク化するためには、計画が軌道に乗るまで限定期間で良いので生涯学習課、司書等、専門の方を、専任で配置すべきです。	ご意見として承ります。
141	21	計画の実施について、責任をもって実施する部署(担当者)と、それを管理統括する部局の特定を希望します。	推進体制の整備をすすめていくなかで検討していきたいと考えております。

142	21	計画されたことを十分に実施できるよう、市民などの協力団体で組織されたネットワークの機構を呼びかけ、そこからの意見も吸い上げられるような組織作りを希望します。		推進体制の整備をすすめていくなかで検討していきたいと考えております。
143	21	「読書活動支援窓口」として、「ネットワーク」団体等が実施する読書活動への、場所の提供・後援申請への速やかな対応・各団体の活動が単発で終わらない連続性や関連がもてるよう団体間の連絡調整・その他活動がしやすくなるような協力を行い、その活動が円滑に行われるようにすることこそが、肝要と考えます。また、「ネットワーク」内には、公共図書館、学校図書館、公民館など、広く市民の読書活動を支える施設も加わることを希望します。		【22頁】ご意見を反映し、「第3章 計画の推進のために」の中に記述しています。
144	21	公共図書館には計画実施のための新規窓口を置き、継続的に推進計画に関わるために、その担当者には正規職員を配置することを明記して欲しい。		ご意見として承ります。
145	21	図書館が読書活動推進のセンターとして動くという記述は嬉しいが、計画を実行性のあるものにするために、さらに、担当窓口や、連携する場の設定など、具体的な記述を加えて欲しい。	6	推進体制の整備をすすめて行くなかで検討していきたいと考えております。
146	21	自らで点検ではなく、市民も入った(有識者だけでなく)外部評価と書いて欲しい。	9	推進体制の整備をすすめて行くなかで検討していきたいと考えております。
147	21	貸出状況や参加状況だけでは測れない面もあると思うので、そのあたりも考慮してください。	6	ご意見を参考にしてどのような評価指標が望ましいのか検討していきます。
148	21	この計画の点検評価をどのようにするかを明記する必要あり。	4	ご意見を参考にして評価指標やその方法について考えていきます。
149	21	研修会は(教職員対象も読書ボランティアや文庫対象のもの)ハウツーものではなく、長期的な広い視野に立てるような研修を企画して欲しい。読書ボランティアの育成もして欲しい。		【19頁】「【今後の取組】①公民館 ウ ボランティア活動の担い手が育つように、ボランティアの養成講座を実施するとともに、さまざまな学習の機会を提供し、活躍の場づくりや情報提供などの支援を行い、活動が地域に広がるよう努めます。」 【20頁】「②ボランティアの活動・養成に対する支援」の項で記述しています。 人数的な増加だけでなく、質的な向上を目指した講座の内容になるよう考えていきます。
150	21	「地域」でネットワークを強調しているが、一方的な支援、養成講座ばかりでなく、これから必要なのは、すでに活動している多数のボランティアの公共図書館の相談窓口や図書館や学校司書との情報交換や交流です。それを明記してほしい。		【12頁】「④学校と地域の連携」 【21頁】「③子ども読書関連団体の連携・交流に対する支援」 【22頁】「第3章 計画の推進のために」などに記述しています。
151	21	「1. 推進体制の整備③」に「読書環境が整っていない地域」とあるが、既存の施設さえない地域には拠点となる地区図書館を建設することを明記してほしい。		「岡山市立図書館整備実施計画」の中で検討していきます。

152	21	P20の【今後の取組】、P21の「計画推進のために」のところになると、様々な団体、ボランティアの活動を支援、養成を支援、連携充実を支援するなどに主力が置かれているように感じられます。学校図書費の何%アップを目指すとか、途中の文章中ではいづらか触れられていたのですが、最終段階ではソフト面ばかりが前面に出ている気がします。市民の目にも見える”かたち”をもっと計画に組み込んではいかがでしょうか。	今回の計画は基本的な施策の方向性を示しており、子どもたちの読書環境整備のための意識付けと考えています。
153	21	実施計画を具体的に策定することを希望します。	今回の計画は基本的な施策の方向性を示しており、子どもたちの読書環境整備のための意識付けと考えています。

その他、全体について

通番	頁	意見等の要旨	回答
154		アンケート調査等の資料が付けてあって、問題点が具体的に示され、分かりやすいと思います。ただ、地域によって差があるのであれば、どういうサンプルの抽出の仕方をしたのか明示してあれば、さらに説得力があるのではと思いました。	2 ご意見を反映し、資料集に「サンプル数は信頼度や反応率を計算式にあてはめると約200人になります。」と追加しました。
155		図や表が見にくく、わかりにくい。	8 ご意見を参考に一部修正しました。
156		全体的に幼い子どものための記述が多いので、中学・高校生へむけた読書活動の推進について加えて書いてほしい。	2 【11頁】ご意見を反映し、「学校図書館は、小学校高学年の児童から高校生までの、いわゆるヤングアダルト世代への本の紹介にも取り組む必要があります。」と加筆しました。また、今後計画をすすめて行くなかで中学・高校生に向けた取組も検討していきたいと考えております。
157		保護者へ読書の大切さを知らせる啓蒙を学校側が随時していくべきだと思います。学校から子ども達へ読書習慣を身につかせる活動は重要ですが、それ以上に保護者への意識付けをいかにするかが課題ではないでしょうか。	ご意見を参考に今後読書活動を推進してまいります。
158		親が子どもを図書館に連れて行ったり、書店で本を購入する権限を持っているので、まず、親の意識改革から始めたらいかがと思われまます。	ご意見として承ります。
159		フォーラムの佐々木先生のご講演が、たいへんよかったです。子どもたちが自主的に参加できるような、読書アクションプランの開発は必要だと思います。ぜひアクションプランを盛り込んだ推進計画にしてください。(坪田譲治文学賞の審査に中学生や高校生が参加するとか、坪田譲治文学賞や市民の童話賞の受賞作で読書会をするとか。)	ご意見を参考に今後読書活動を推進してまいります。
160		P1、2行目 おぼえる→覚える 4行目 みながら→見ながら P5【現状と課題】12行目 持つ→もつ など、仮名、漢字に見直しがいると思う。	ご意見を反映し、修正しました。

161	P9の最終行 コンピューター を入れる。		ご意見を参考にし、表記を「コンピュータ」に統一します。
162	全体的に対象年齢が明確に理解されるような「目次立て」「見出し」「ただし書き」による注記が必要。		ご意見として承ります。
163	各章の叙述量のバランスはどうか、一般市民の方の目安となるような配慮がなされているか。		ご意見として承ります。
164	出産時に市役所で、1歳半・3歳健診に保健所で、図書館(県立、公立、学校図書館等)等の場所で読書ノートの配布をし、日付、書名、感想・反応等の欄を作り、読書の記録を手元に残し易くする手助けにして頂けたら、うれしいです。		ご意見として承ります。
165	現在中央図書館においては、日曜日の読み聞かせについては、「おはなしグループモモ」とか、「図書館の司書職員」の方が紙芝居などされていますが、地域の幼稚園(保育園も含む)、小・中・高等学校の保育士、教諭が読み聞かせをしたり、学校だったら図書委員会もあるので、その生徒(大学の児童学科の学生でもよい)も子どもさんとのふれ合いができ、勉強になる。②毎月、週単位でもよろしいが、岡南小学校でよく読まれている本、岡南幼稚園でよく読まれている絵本など展示するなどし、その期間の日曜日には岡南小学校、幼稚園の教諭が読み聞かせを行うのもよいのではないのでしょうか。以上、私も時々幼児の皆さん、小・中学生、子どもと接していると生きがいを感じます…。大人も子どもと一緒に読んで読書を楽しもうではありませんか…。		ご意見を参考にして今後の読書活動を推進してまいります。
166	全体に【現状と課題】に比べ【今後の取組】の割合が少ないです。こちらがメインではないですか？	3	ご意見として承ります。
167	もっとポイントだけをまとめた物を一つつけていただけるとありがたいです。		ご意見として承ります。
168	18歳までのすべての子どもたちに平等に権利が保障されるように。特に勤労青少年、養護施設、放課後子どもたちが過ごす施設など目立たないところにこそ重点を置いて欲しい。		ご意見を参考にして今後の読書活動を推進してまいります。
169	周りの大人たちの読書活動がより前進し、広げることができる形にして欲しい。		ご意見を参考にして今後の読書活動を推進してまいります。
170	⑤「はじめに」や第1章では読書の自由の記述があるが、第2章以後の記述は強制的な取り組みがあり、矛盾している部分がある。統一(自由を保障する立場で)してほしい。		ご意見として承ります。

171	幼い頃から、読書、絵本が大好きな子どもたちを育てたいと常々思っています。そのために、家庭・学校・園・地域が同じ思いで取り組むことが第一と思っていますが、その中に、私は朝読書の習慣化を定着させたり、ストーリーテリングや民話の語りに触れることができる機会を多くもてるようにできたらと願っています。	2	ご意見を参考にして今後の読書活動を推進してまいります。
172	素案は、“市全体の子どもの読書環境を検証したこと” “今ある読書拠点や読書関係者の活性化を図ろうとすること” “各読書拠点や読書関係者を結びつけようとする” などの面では評価できる。しかし、真の読書環境整備という意味では、具体性に欠け満足のものではない。例えば、地区図書館建設、公共図書館や学校園の資料充実、学校司書・公共図書館司書の配置や確保など、確実に子どもの読書に結びつき、効果をあげる取り組みへの記述が弱い。読書活動の充実は、子どもに読書を強制することはもとより、家庭や今ある施設・今ある職員に、さらなる努力や工夫を強いるだけのものではないと思う。私たちが行政に一番望むことは、有効にお金を使って人・本・場を充実させ、読書の環境を整えることである。策定されれば、この計画は、市民協働して実践していく今後の指針・目標となる。事業の縛りや足かせになるような計画でなく、将来的にここを目指してともに頑張ろうと思える、夢ある計画案にしてもらいたい。		ご意見を参考にして今後の読書活動を推進してまいります。
173	【現状と課題】と【今後の取組】の記述は番号を打つなどして呼応させて欲しい。		できるだけ呼応するよう訂正しました。
174	読書活動推進計素案は、観念的な表現も多く、少々読みにくいのではないかと思います。		ご意見として承ります。
175	分量も多すぎるような気がします。全体的に、もう少し具体性の高い簡潔なものにする必要があるのではないのでしょうか。		ご意見として承ります。
176	子どもの読書の権利を保障するとともに、読書活動に含まれる情報へのアクセスする権利や文化を受け取り・創造する権利を尊重するという幅広い活動が充実できるような推進計画を策定してください。		ご意見を参考にして今後の読書活動を推進してまいります。
177	基本理念として、①子どもの読書の自主性の保障(読書を強制しないこと) ②環境整備(本・人・場の充実を)進めること ③市民協働という考え方 ④現状より充実するという方向性 ⑤実効性ある計画と継続性・平等性 ①～⑤を踏まえて、全体を整理してください。	2	ご意見を参考にして今後の読書活動を推進してまいります。

178	<p>提案 1. 公民館付設既存図書コーナーの整備 各種資料を所蔵・公開し、図書館と性格や役割が類似している公民館、児童館、生涯学習センターなど、図書館類縁機関の整備、とりわけ公民館図書コーナーの整備が求められる。現在公民館が37館あり、そのうち29館に図書コーナーが設けられている。既存の施設を整備しそれを十分生かすことは、現実的であり有効である。29ある公民館付設の図書コーナーを、サービスの前線基地として十分機能するよう、更に整備充実することである。</p>	<p>ご意見を参考にして今後の読書活動を推進してまいります。</p>
179	<p>2. 図書コーナー未設置8公民館に図書コーナーを新設 現在37ある公民館のうち図書コーナーを備えていない8公民館に、早急に図書コーナーを新設する。</p>	<p>図書館が併設されている、もしくは近隣にある公民館は図書コーナーを設置していません。</p>
180	<p>3. 官民共同の小規模図書館を新たに建設 末端のサービス空白地域を解消するためには、小規模図書館の新設が重要な課題である。公共図書館は設置主体によって、公立図書館と私立図書館があるが、この場合従来型の地方公共団体丸抱えの公共図書館、つまり市立図書館ではなく、新しい形態の図書館として、官民共同の図書館というものを検討してみてもどうか。子どもが身近なところで本と出会う場を早急に実現することがねらいである。</p>	<p>ご意見として承ります。</p>
181	<p>子どもに本をすすめる方法として、「読み聞かせ」が中心になっています。しかし、「ストーリーテリング」は「本」への誘いとして有効なばかりでなく、言葉の問題にもかかわるもので、現在は全国いたるところで行われています。地道に末永く語り手を養成し、多くの子どもたちに「おはなし」を聞く機会を作ることは、岡山にとって、とても必要だと思えます。</p>	<p>ご意見を参考にして今後の読書活動を推進してまいります。</p>
182	<p>幼児期の言葉に関することや、家庭での読み聞かせについての実践的なことなどについては、要所々に「コラム」のページを設けて取り上げてはどうでしょう。</p>	<p>ご意見として承ります。</p>
183	<p>子どもの成長発達の中での本の果たす役割があまり明確に書かれていないように思います。幼い子どもの場合、「絵本」をいっぱい知っていることがよいことではない、繰り返し同じ本を好むこと、それは大切なことなのだといったことも、幼児と絵本の関係の中での特徴として挙げて欲しいと思います。</p>	<p>ご意見として承ります。</p>
184	<p>全体的に文章は見直しをされるご予定でしょうか。</p>	<p>全体的な見直しは考えておりません。</p>